

秋の全国交通安全運動・街頭キャンペーン



秋の全国交通安全運動は、9月21日(木)から30日(土)までの10日間、「市民一人一人が、安全を第一に考え、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図る」目的で、繰り広げられました。

スローガン:「安全をつなげて広げて 事故ゼロへ」

田原地区では、9月21日(木)に街頭キャンペーンを行い、各自治会では通学路や交差点などで登校中の児童・生徒たちに交通安全を呼びかけました。

また、夕暮れ時と夜間の交通事故が多く発生していますので、自動車等を利用する際には、前照灯の早めの点灯、ハイビームの活用をお願いします。

田原ふれあい広場 11月4・5日開催

とき: 11月4日(土): 午前9時30分～午後4時まで
5日(日): 午前9時30分～午後3時まで

※5日は、交流センター駐車場を使用します。(雨天の場合は、屋外のイベント中止)

ところ: 田原交流センター

主な催し

★みんなの作品展(2日間開催)

- ・田原地区の皆さんの応募作品(書、絵、生け花、手芸品、俳句、写真など)
- ・田原交流センターの登録団体からの応募作品()
- ・田原幼稚園児、田原小学校児童の絵画や自由研究などの作品展示

★ガラポン大抽選会(2日間開催)

豪華景品をご用意しています。

★乗車体験・ゲーム遊び・物品等の販売・もち投げ(11/5のみ)

- ・ミニSL乗車、ヨーヨー釣り、バルーンアート、木工品・小物の販売
- ・農産物の販売、法多山だんごの販売、焼き餅、焼き芋の配布
- ・もち投げ

★3世代ぷらっと(11/5のみ)



花と緑あふれる田原地区



<https://www.instagram.com/taharakoryu/>

田原交流センター Instagram

こちら↓



不思議がいっぱいの謎の花：ヒガンバナ



↑ 田原水車の里は、今年も真っ赤に染まりました。



← 水面を背景に、花の赤色が映えます。ヒガンバナは、一輪だけでも存在感があります。

ヒガンバナは蜜を → 作るため、様々な虫が訪れます。



ヒガンバナは田原の秋を象徴する花で、今年も水車の里の古川周辺をはじめ、地区内の各地で開花しています。私たちにはなじみが深い花ですが、実は不思議な点が多い「謎の花」です。

例えば、日本に自生するヒガンバナは種子を作りませんが、中国のヒガンバナ(コヒガンバナ：日本のヒガンバナの原種)は種子を作ります。これは、中国のヒガンバナが通常の二倍体(染色体数が22本)であるのに対して、日本のヒガンバナは三倍体(染色体数33本)であり、減数分裂が正常に行われなためです。日本のヒガンバナが三倍体になった経緯はわかっていません。日本のヒガンバナは球根で増えますが、このような繁殖法(栄養生殖)では、子孫は親と全く同じ遺伝子を持ったクローンになります。

Instagramやフェイスブックで水車の里周辺の様子を見ることができます。ぜひご覧ください。

* 二倍体、三倍体……いったい何のことでしょう？

生物(細菌を除く)の細胞には遺伝子を含んだ染色体があり、その基本数(n)は生物に固有です。例えばイネ(お米)では $n=12$ 本、ヒガンバナでは $n=11$ 本です。染色体数が n本の個体を半数体、2n本の個体を二倍体、3n本の個体を三倍体といいます。

自然界ではほとんどの植物が二倍体ですが、ヒガンバナのような三倍体の植物もあります。また、種なしスイカのように人為的に作られた三倍体もあります。



← 田原水車の里愛護会

Facebookはこちら

<https://www.facebook.com/TaharaSuisya>

★ Happy Halloween ★

10月31日(火)
田原交流センター

ハロウィンは
交流センターにおいてよ！
きっといいことがあるよ。



田原交流センター講座 開催報告

中部地域包括支援センター共催 薬のおはなし



劇団たはらの皆さんの寸劇「薬についての困りごと」を観たあと、市内国府台の「薬局フォーリア」の薬剤師さんによる、薬を飲み忘れた時の対処方法、飲み合わせについて、そして「かかりつけ薬局や薬剤師」を持ちましょうというお話を聞きました。受講者からの質問も多く出て、皆さんの関心の高さがうかがえました。

水彩画講座 田原の風景を描こう



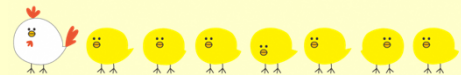
水車の里やその周辺でお気に入りの場所を見つけて秋の風景をスケッチし、室内に戻って色付けをして絵を完成させました。完成した絵は、多目的スペースに展示してあります。

田原地区子育て支援 BPプログラム



親子の絆づくりと、子育ての仲間づくりを目的とした講座で、今回は8組の親子が参加し、子どもとの関わり方や子どもがいる生活について学習しました。

ここで出会った皆さんが、今後も子育ての仲間となれたらいいですね。



ジュビロ磐田 大津祐樹選手 小学校訪問で田原小学校に来校



10月12日(木)ジュビロ磐田の大津祐樹選手が田原小学校を訪問し、子どもたちとふれあいの時間を持ちました。

最初に、一斉観戦について「パワーを送ってくれてありがとう」とお礼の言葉があり、その後全校児童とのじゃんけん大会をしました。

また、5・6年生との質問タイムでは、子どもたちからの質問に丁寧に答えてくれました。

最後に大津選手から「ここまで全部うまくいっているわけじゃない。あきらめたり失敗を恐れたりしないで頑張ってもらいたい」とのエールをもらいました。

社協の考える福祉とは

今年も田原小の生徒さんに“いっぺん”を作ってもらい、高齢者に届けました。気持ちのこもった手紙です。これに対するお礼や、勉強を頑張ってる等のメッセージが届きました。顔を見たことのないおばあさん、おじいさんと小学生の心のつながりの輪が少しずつ大きくなってきたことを感じています。

今まで社協を続けてきて、福祉って何だろうと漠然と考えていました。自分なりにはっきりと意識したいと思い、今回webで調べてみました。

福祉というと高齢者や障害者を対象とした何か特別な事のように思われています

が **福祉** = **しあわせ** という意味の言葉です。

人は良く生きよう、良く生きたいという願望や欲求があります。その中に一人ひとりの具体的な幸せがあると思います。一人ひとりの求める幸せがあるのであれば、一人ひとりの集まりである社会全体の求める幸せもあるはずです。そこに幸せと福祉という二つの言葉の存在する意味があるわけです。

「幸せ」とは、一人ひとりの私的レベルの”しあわせ”を意味し、「福祉」とは一人ひとりの集まりである社会的レベルの“しあわせ”を意味すると考えられます。

これらはwebから抽出した言葉です。



田原小学校 託児ボランティア

3世代ぶらっと

地区社協の活動はいよいよ後半に入ります。本年度は4つの大きなテーマを掲げ、それぞれについて現在活躍中の皆さんにもメンバーに入ってもらい、より良い田原を実現するためのアイデアを出していただいてロードマップを作成をする予定です。内容が固まり次第、社協だよりに掲載します。